

10月2日(土)

13:30～15:30

再開発が進む東京のウォーターフロント。
旧芝離宮恩賜庭園や、浜離宮恩賜庭園、かつて築地にあった浴恩園は、江戸時代、潮の満ち引きをダイナミックに取り入れた、自然と共生する潮入りの庭園でした。現在、旧芝離宮恩賜庭園を中心とした竹芝地区は、再開発が進み、新しい空間が次々と生まれています。庭園とこれまでの都市づくりの関わりを紐解きながら、海の自然と共生するこれからの「文化財庭園都市」を考えます。

プログラム

- はじめに 竹内智子（千葉大学准教授）
- 話題提供
 - ①まちの中にある文化財庭園
～海を自然を取り入れた潮入り～
亀山章（東京農工大学名誉教授）
 - ②旧芝離宮恩賜庭園で「潮入り」を感じる
北村葉子（公益財団法人 東京都公園協会）
 - ③竹芝地区の変遷
～庭園と周辺の移り変わり～
石綿優太郎・池田龍仁・大嶋千世
（千葉大学・竹内研究室）
 - ④竹芝干潟プロジェクトの推進
滝澤恭平（株式会社 水辺総研 取締役）
 - ⑤海を自然と共生する楽寿園
～潮入りの復元を目指して～
樋渡達也（武蔵野文化協会理事長）
- 質疑応答・ディスカッション
+ 菊池正芳（公益財団法人 東京都公園協会
事業推進担当部長）
平澤毅（文化庁主任文化財調査官）

要申し込み

下記ウェブサイトより

https://zoom.us/webinar/register/WN_ZRxtRy8MSdaKk2oVM-W4RQ

問い合わせ先：セミナー事務局
shibarikyuu.webinar@gmail.com



文化財庭園都市

庭園から考える海の自然と共生するまちづくり
IN 竹芝

オンライン開催
ZOOMウェビナー

先着500名
参加無料

主催：千葉大学園芸学研究院・（公財）東京都公園協会